

# 五條の歴史を 探る

第147回

五條新宮縦貫鉄道 (その2)

五新鉄道建設計画は、期成同盟会により第43回帝国議会(会期・大正9年7月1日〜28日)で衆議院及び貴族院に請願(国民の意見を議院が仲介し、政府に送付すること)されるだけでなく、第14回衆議院議員総選挙(選挙日・大正9年5月10日)で、奈良5区で当選した玉置良直と他5名により建議(議員の意見を議院が仲介し、政府に送付すること)もされました。敷設の目的は、交通の利便性向上、地方産業の振興等でした。

当時、鉄道の建設には、国が建設すべき鉄道路線を定めた「鉄道敷設法」(明治25年6月21日公布)に記載の上、政府の建設計画に基づき建設されるか、民間の鉄道敷設等を定めた「地方鉄道法」(大正8年4月9日公布)に基づき、国の許可を受け建設する方法がありました。

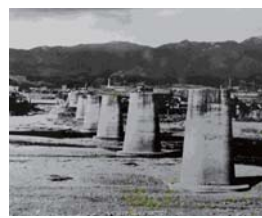
前者は、個人で多額の建設費用や運営資金を準備する必要がない反面、法律に記載され建設予定線になったと

しても、政府の方針により必ずしも建設されるわけではありませんでした。後者は、多額の建設費用や運営費用等を自分たちで用意する必要があった一方で、ある程度の会社の自主性が認められていました。

また、「鉄道敷設法」は施行以来、適宜改正し、建設予定路線を追加していきましたが、大正9年時点で大部分の路線が建設されていたため、マスコミが否定的な意見を書くなか、政府や与党議員からは全面改正の声も上がっていました。

さらには、時の内閣総理大臣原敬は大正7年10月11日に東京商業会議所の施政方針で交通機関の改善等を示しており、鉄道路線を拡張することに積極的でした。

このような事情もあって、第43回で請願と建議は可決されただけでなく、「改正鉄道敷設法」(大正11年4月11日公布)にも記載されたことで、建設に向けた大きな一歩を歩みだしたのです。(つづく) 文化財課学芸員 山本望実



吉野川にたたずむ  
五新線橋脚

## 2月 図書館だより

問 市立図書館 (水曜休館)

☎ 22-4133



図書館ブログ



蔵書検索

### 蔵書点検のため休館します

休 2月3日(水)~17日(水)

蔵書点検とは、すべての図書資料を点検し、破損や紛失がないか、正しい場所に所蔵されているかを確認する作業です。

休館中の資料の返却は、ブックポストを利用してください。

### 彩無き世界のノスタルジア



行成 薫 / 著  
集英社

治療よりも水と食料が必要だ。1600本の井戸を掘り、65万人の命を支える用水路を建設した医師・中村哲の活動を、彼の言葉と数々の写真で振り返る。

### 希望の一滴 中村哲、アフガン最期の言葉



中村 哲 / 著  
西日本新聞社

新刊本棚  
おとなの本

### うしとざん



高島 那生 / 作  
小学館

ある大きな国の王様につれて、男鹿半島にやってきた5匹の鬼たち。人々のために懸命に働きますが、誤解され、村人たちとある賭けをする事になり……。秋田県の季節行事・なまはげの由来となった昔話。

### なまはげ



池田 まき子 / 文  
汐文社

こどもの本

## 第5回 五條市図書館を使った調べる学習コンクール 入賞作品を展示します

図書館を使った調べる学習コンクールは、蔵書などの図書館メディアを活用し、体験や創作などと結びついた実践的研究を行い、「情報を活用する力」や「情報を適切に読み取る力」などを身に付けてほしいという思いから開催しているものです。第5回となるコンクールの入賞作品を右のとおり展示します。

なお、入賞者の紹介は、広報五條4月号に掲載予定です。

時 3月1日(月)~14日(日)  
9時~16時45分  
※水曜日は休館

所 市立図書館

問 学校教育課 (内線817)

## うつの館から 見取り図案内其の百四拾五 文学・文芸作品に見る五條① 『日本霊異記』に描かれた金剛山

『日本霊異記』は、日本最古の仏教説話集で、奈良時代の末から、平安時代の初期に成立しました。原題は『日本国現報善悪霊異記』。上・中・下の3巻から成り、仏教の教えを語る短編が、全部で116話収められています。

作者は、薬師寺の僧景戒。各説話の主人公は主に一般の人々ですが、五條とも深い関係のある藤原仲麻呂や橘奈良麻呂の話もあり、巻28で語られるのは、えんのうぼそく 役の優婆塞(役行者)。

役行者は、もろもろ 諸々の鬼神を誘いおのおの 催して日わく、「大倭の国の金の峯と葛木の峯とに橋を渡して通わせ」という。

金の峯とは、金峰山。葛木の峯とは、葛木山と総称されています。現在の金剛・葛城山のことで、役行者が、葛城修験道の葛城山系と、大峰修験道の大峰山系を結んで岩の橋を掛けようとしたという伝説は有名ですが、その岩の橋の名残は、奈良県と大阪府の県境、ダイヤモンドトレールにある岩橋山の巨石「久



【展示案内】「布」展  
時 ~3月20日(土)



北山領立合絵図

米の岩橋」であろうというのが、『河内名所図会』を根拠にした一般的な説です。が、『北宇智村史』の執筆で郷土史研究家の吉田寅次郎氏は、藤岡家所蔵の「北山領立合絵図」(延宝6年(1678年)に記されている「岩橋の岩」にも、伝承の岩であるという可能性は捨てがたいという見解を残しています。

伝承の魅力は、今も人々を惹きつけています。

館長 川村 優理 (つづく)